



L20M Plus

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切に保管してください。

ようこそ

Verefaロボット掃除機をご利用いただき、ありがとうございます。

ご使用中になにかご質問やご不満がございましたら、ロボット下部にある
連絡先から当社までお問い合わせください。問題を解決するために最善を
尽くして対応いたします。

*製品は実物を基準とし、詳細は示されているものと異なる場合があります。

目次

1. 安全規範	重要な安全上の注意事項	01
	2.1 セット内容	03
2. 製品説明	2.2 主なコンポーネントの説明 (ボタンおよびインジケーターなど)	04
	3.1 使用前の重要な準備	08
3. 取り付けとご利用	3.2 取り付けと使用	08
	4.1 主な機能	10
	4.2 モップ機能	13
4. 利用説明	4.3 掃除機能	14
	4.4 ネットワーク機能	15
	4.5 その他の機能	15
	5.1 日常の保守	16
5. トラブルのこと	5.2 トラブルシューティング	20
	5.3 よくあるご質問	22
	基本パラメーター	24
6. お知らせ	省エネとバッテリー	25
	アフターサービス	26

1. 安全規範

本製品をご使用になる前に、次の基本的な安全予防処置を遵守してください：

- ・取扱説明書のすべての内容をよくお読みになり、取扱説明書の指示手順通りに製品を使用してください。
- ・取扱説明書は、いつでも参照できるように適切に保管してください。
- ・本製品を第三者に譲渡する場合は、取扱説明書を製品に添付してください。
- ・取扱説明書の指示に従わない操作は、深刻な人身傷害や製品自体の損傷につながる可能性があります。
- ・取扱説明書が紛失した場合は、電子版を入手するために、最寄りの販売店またはアフターサービスにご連絡ください。

重要な安全上の注意事項

使用上の制限

- ・本製品は、安全な使用を確保する上で、保護者の監督または指示がない限り、身体的、感覚的、精神的または知的障害のある方（子供を含む）、および関連する経験や知識のない方による使用を意図していません。
- ・本製品を玩具としてお子様に遊ばせないようにしてください。お子様やペットをできるだけ稼働中の本製品から遠ざけるように監視し、乳幼児が寝ている部屋で本製品を使用しないでください。
- ・本製品には小さな部品や付属品が含まれている可能性があります。お子様が誤って本製品や付属品を分解して損傷したり、小さな部品を飲み込んで窒息やその他の危険を引き起こさないように、本製品や付属品をお子様の手の届かないところに置いてください。
- ・窒息の原因となるので、お子様を本製品のパッケージで遊ばせないでください。
- ・ローラーブラシクリーニングツールをお子様の手に触れる場所に置かないでください。
- ・本製品は家庭環境での床の清掃のにのみ適用されます。屋外（オープンバルコニーなど）、床ではないところ（ソファなど）、商業または工業環境で使用しないでください。
- ・ガードレールのない宙に浮いた環境（デュプレックスフロア、オープンバルコニー、家具の上など）で使用しないでください。
- ・ご使用する前に、ロボットが稼働中にケーブルを引きずらないように、床にあるケーブルを片付けてください。
- ・ロボットが稼働中に妨げられたり、軽い衝突で家の貴重品を壊したりしないように、床にある割れやすいものや雑物（花瓶、ビニール袋など）を片付けてください。
- ・本製品の機能に影響を与えることを防ぐため、充電スタンドは、火気、熱源、水、狭い場所またはロボットが宙に浮く可能性のある場所を遠ざけ、壁寄りの平らな場所に設置してください。
- ・製品の動作中に充電台を取り外すと、ロボットが正常に充電できなくなります。
- ・40℃以上、0℃以下の環境や床に液体や粘着物がある環境では使用しないでください。
- ・本製品は湿気の多い環境（バスなど）で使用しないでください。
- ・燃えているもの（火の消えていないたばこの吸い殻など）や燃えやすく爆発しやすいもの（ライター、ガソリン、プリンターやコピー機で使用するトナーなど）の掃除には使用しないでください。
- ・カーペット上の長い毛の掃除には使用しないでください（一部の濃い色のカーペットでは正常に掃除できない場合があります）。
- ・ロボットと床を傷つける恐れがあるため、本製品に硬い物や鋭い物（装飾くず、ガラス、鉄釘など）を吸い取らせないでください。
- ・部屋全体を掃除する前に、製品が部屋の床を傷つけない、損傷しないことを確実にするために、家で局所的なテストをすることをお勧めします。
- ・ロボットの稼働中に、人体やペットの毛、指などをロボットの掃除口やブラシヘッドの回転位置に近づけないでください。怪我の原因となります。
- ・怪我の原因となるため、本製品の隙間に指を入れないでください。
- ・本製品が動いているかいないかわかわらず、本製品の上にはいかなるもの（お子様、ペットを含む）も置かないでください。ロボットや充電台の上に座ったり、立ったりしないでください。
- ・転倒を防ぐために、本製品を起動する前に、部屋にいる他の人に知らせてください。

- ・本製品は伏せて置かないでください。フェイスカバー、フロントバンパー、レーザー測距センサー保護カバーなどのカバーをハンドルとして持ち運ばないでください。
- ・ロボットおよび充電台は、シャットダウンされた状態または電源が切れた状態で洗浄または保守を行ってください。
- ・濡れた手で電源プラグや製品に触れないでください。感電の原因となります。
- ・洗える部分以外のあらゆる部分を湿った布や液体で拭き取ったり、洗い流したりしないでください。また、水洗可能な部品は洗浄後、完全に乾かしてから取り付けて使用してください。
- ・取扱説明書の指示通りに本製品を使用してください。不適切な使用による損失や傷害は全てユーザーの責任となります。
- ・本製品のロボットおよび付属品に損傷があった場合は、使用せず、当社アフターサービス部門に連絡してください。当社が指定・認定した修理技術者を除き、いかなる人物も本製品を分解、修理、改造しないでください。

バッテリーと充電

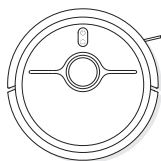
- ・サードパーティ製のバッテリー、アダプター、電源コード、充電台は使用しないでください。本製品には、同梱のバッテリー、アダプター、電源コード、充電台のみを使用してください。これを遵守しなかった場合、本製品の損傷、感電、または高圧による火災の原因となる恐れがあります。
- ・バッテリーや充電台を無断で分解、修理、改造しないでください。
- ・充電台を熱源（ラジエーターなど）の近くに置かないでください。
- ・濡れた手で、コード、ソケット、または電源アダプターに触れないでください。
- ・湿った布や濡れた手で充電コンタクトを拭き取ったり、清掃したりしないでください。
- ・電源コードが破損または折れた場合は、ただちに使用を中止し、正規ルートで別途購入または交換してください。
- ・本製品を輸送する必要がある場合は、ロボットの電源がオフになっていることを確認してください。元のパッケージで梱包することが推奨されます。
- ・本製品を長期間使用しない場合は、フル充電した後、ロボットの電源を切り、涼しく乾燥した場所に保管してください。バッテリーの過放電を避けるため、少なくとも3か月に1回は充電してください。
- ・電源の電圧が充電台に表示されている電圧に合致するような環境で使用してください。使用地域が落雷の影響を受けやすい場合、または電源の電圧が不安定である場合は、適切な保護対策を講じることが推奨されます。
- ・電源コンバーターとの併用は禁止されています。これに違反した場合、保証が無効になり、危険が発生する恐れがあります。
- ・ロボットのバッテリーを交換する必要がある場合は、当社アフターサービス部門にお問い合わせください。間違ったタイプのバッテリーに交換すると、安全上の事故につながる恐れがあります。
- ・バッテリーが液漏れした場合は、液体が皮膚や服に付着しないように注意し、すぐに乾いた布で拭き取ってリサイクル場所や指定された修理店に送ってください。むやみに廃棄しないでください。
- ・バッテリーを取り外す前に、電源スイッチをオフしてください。
- ・本製品を廃棄する場合は、バッテリーを取り外す必要があります。廃棄されたバッテリーは勝手に捨てず、適切に処分してください。バッテリーに環境に有害な物質が含まれているため、現地の環境保護規制に従って指定されたリサイクル場所に廃棄してください。

レーザー安全情報

- ・このレーザー測距センサーは、IEC60825-1:2014の1級レーザー製品標準に準拠しており、危険なレーザー放射を生成しないものの、より安全を確保するために、ご家族（特にお子様やペット）がレーザー送信器を間近で直視することをしないようにしてください。

2. 製品概要

2.1 箱に含まれるもの



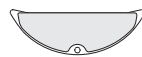
ロボット掃除機
(以下、ロボット)



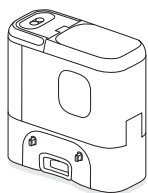
サイドブラシ(1本)



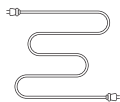
クリーニングブラシ
(ダストボックス内)



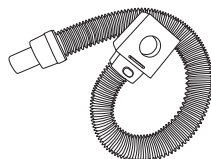
モップモジュール
(モップ装着済み)



自動エンプティ充電台
(以下、充電台と略す)



電源ケーブル



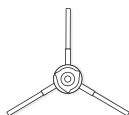
ホース部



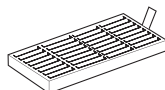
扁吸隙間ノズル



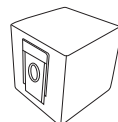
クイックスタートガイド、
その他資料



予備のサイド
ブラシ(1本)



追加フィルタ
ー(1個)

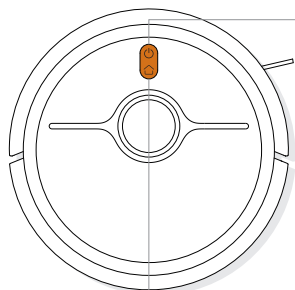


ダストバッグ(2個)

2.2 主なコンポーネントの説明 (ボタンおよびインジケーターなど)

A) ロボット掃除機 (ロボット)

上部



ボタン

⏻ 電源ボタン

- 電源のオンとオフ：3秒長押しすると、電源をオン/オフに切り換える
- 掃除スタート：電源を入れた後、短押しすると、掃除がスタート

⏻ 充電ボタン

- 充電ボタン：短押しすると、充電がスタート

⏻ + ⏻

- Wi-Fiリセット：電源ボタンと充電ボタンを同時に3秒長押しすると、Wi-Fiをリセット
- 手動集塵：本体を充電台の上で押して集塵を開始する
- 掃除中または充電中に、任意のボタンを押すと、停止

ロボットインジケーター

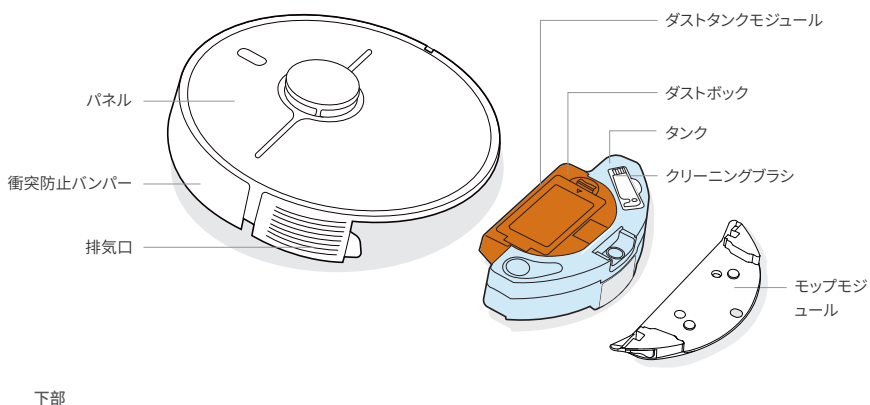
ホワイト：正常な電力量

オレンジ：低電力状態

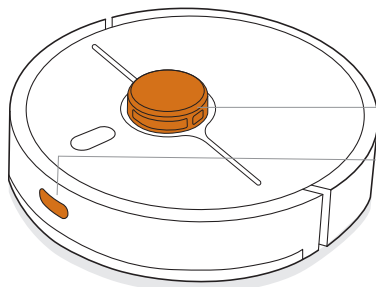
レッド：故障状態

ホワイト明暗型に点滅/

オレンジ明暗型に点滅：充電中



下部

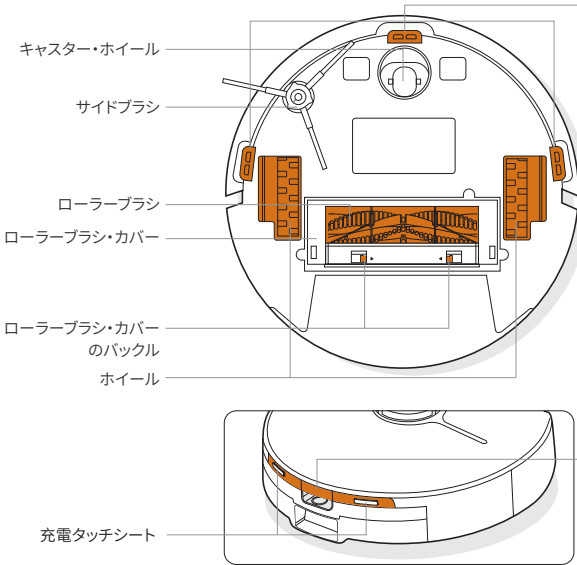


メインセンサー

レーザー測距センサー

充電センサー

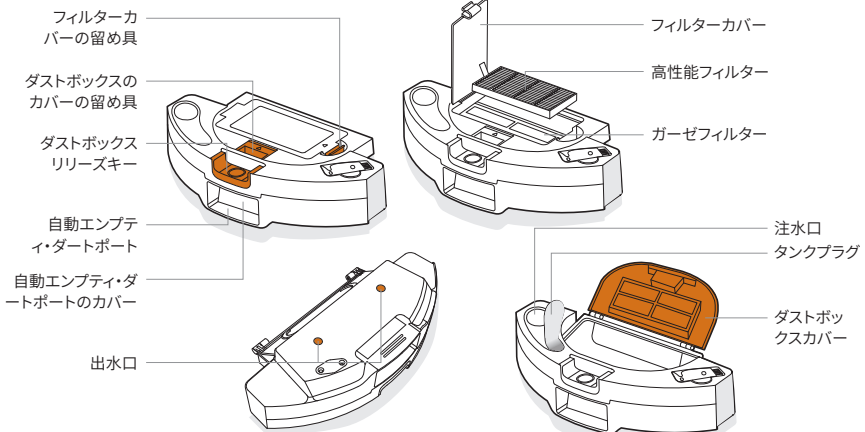
メインセンサー



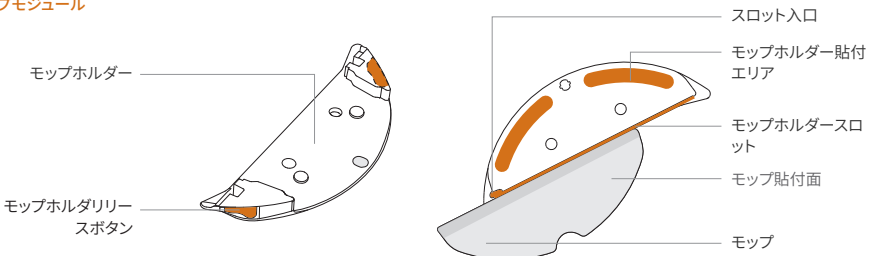
段差センサー

充電センサー

ダストボックスタンクモジュール



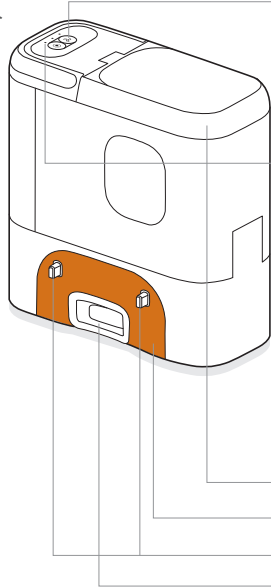
モップモジュール



B) 自動エンプティ充電台 (充電台)

ボタンを (対応する機能は、取り外し可能な掃除モジュールが取り外された場合にのみ使用できます)

フロント



モード調整ボタン: 短押しして吸引力を調整できます (サイクル調整、3モード調整可能)

スタート/一時停止: 短押ししてスタートまたは一時停止が可能

充電台インジケーター (電源オン状態において)

ホワイトで点灯: 充電台は電源に接続されているが、ロボットは充電台にはない*

消灯: ロボットは充電台に接続されている

ホワイトで3回点滅: タスクのスタート/完了状態提示

レッドで点灯: ダストバッグの位置ずれや取り付けの転倒

レッドで点滅: 異常状態

* 取り外して別途使用する場合:

対応する数量インジケータが点灯すると、は対応するモードになり、下から上に順番に点灯します。

* 10分点滅すると消灯し、スタンバイ状態になる

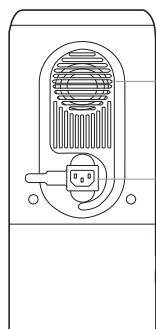
トップカバー

充電台位置表示ピーコン

充電コンタクト

充電台ダートポート

リア



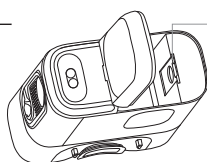
充電台排気口

電源コード

上部

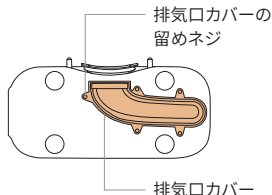


充電台フィルター



ダストバッグのガイドレール

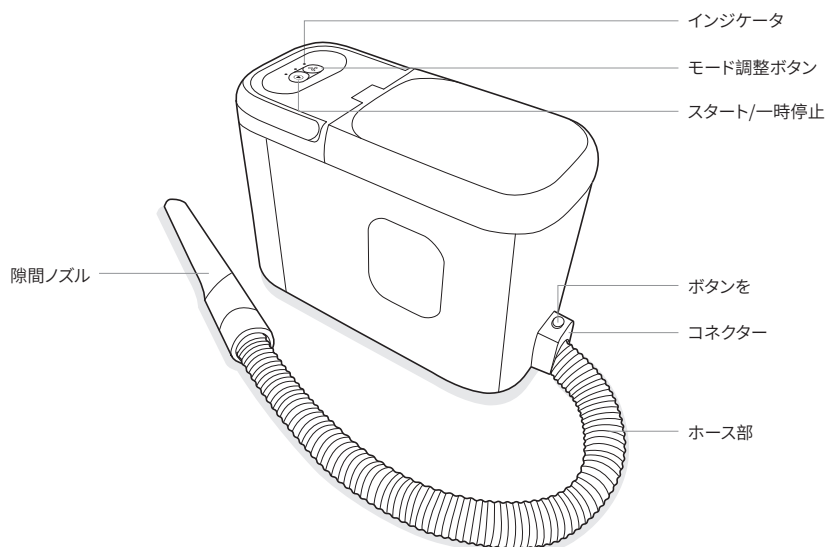
下部



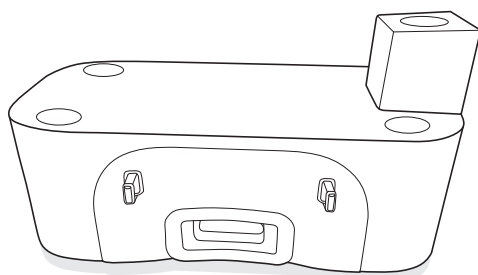
排気口カバーの留めネジ

排気口カバー

取り外し可能な掃除モジュール：



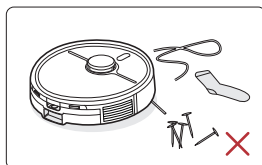
ベース：



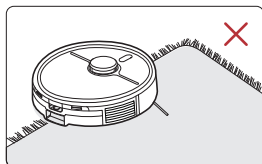
3. 取り付けとご利用

3.1 使用前の重要な準備

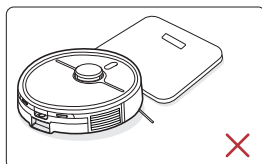
家の環境を整える



- ① ご使用前に、ロボットに巻き付けられる可能性のある雑物やワイヤーを片付け、倒れやすいもの、壊れやすいもの、貴重なものや潜在的に危険をもたらすものを取り除いてください。ロボットに巻き付けられたり、引っかかったり、引きずったり、倒れたりすると、人的または物的損害を引き起こす原因となります。



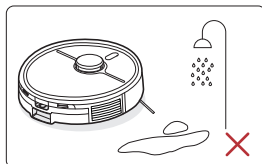
- ② ロボットに巻き付けないように、装飾カーペットのフリンジを下に折り畳んでください。色が非常に濃い、または厚さが12.7mmを超えるカーペットは避けてください。



- ③ ロボットは高さ20mm以下のものの上を這う場合がありますので、可能な限り、このようなものを取り除いてください。



- ④ 壁付暖炉や排気口などの宙に浮く環境や危険エリアの特定のところでロボットを使用する場合は、ロボットが誤って転落したり、侵入して人的または物的損害を引き起こす事態を防ぐために、堅牢な物理的バリアーを使用してください。



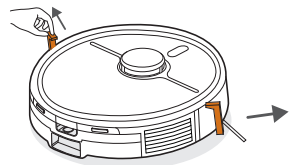
- ⑤ 掃除中に、ロボットを湿気の多い場所や粘性のあるものから遠ざけるようにしてください。

- ⑥ ロボットをはじめて使用するとき、引っかかり清掃すべき場所を避けるなど、いくつかの小さな問題に対処する必要がある場合があるため、今後の運行がよりスムーズになるように、最初の数回の運行中は、走行状態を観察し、小さな問題の処理を手伝ってください。

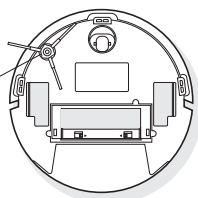
3.2 取り付け・使用

1) 保護物の除去

ご使用前に、ロボットのフロントバンパーの保護ストライプと保護フィルムを除去し、正常に走行できる状態にしてください。



2) サイドブラシを取り付ける

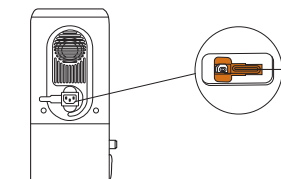


3) 充電台を設置、電源を接続し、ロボットを充電する

① 電源ケーブルを接続し、結束バンドで電源ケーブルがもつれないようにします。

⚠ 注意:

- 床面にある電源ケーブルにロボットが絡まることで、電源が落ちたり、ロボットが絡まったりする可能性があります。



② 充電台を置き、電源を入れます。

- 充電台は、ロボットがアクセスしやすい位置に置いてください。

⚠ 注意:

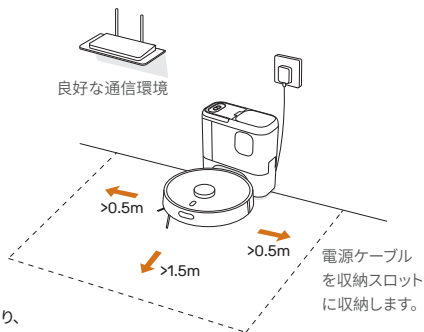
- 充電台の前面1.5m、両側面0.5mの範囲に物を置かないように注意してください。
- 充電台の信号発信部を物で覆わないでください。
- 充電効果に影響を与えるので直射日光は避けてください。

- 充電台は、水平で滑りにくく、硬い壁面に置いてください。

⚠ 注意:

- 位置の変化による充電の失敗を避けるため、充電台をカーペットや毛布の上に置かないでください。

- 充電台は必ず電源に接続してください。安定したWi-Fiネットワークがあり、ネットワークのパフォーマンスが良い環境に設置されていることを確認してください。



⚠ 注意:

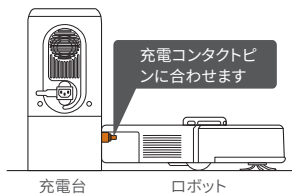
- 充電台は常にコンセントにつないでください。そうしないとロボットは自動的に戻ってきません。
- クリーニング後にスムーズに充電台に戻るために、充電台からクリーニングを開始することをおすすめします。クリーニング中は、充電台は動かさなくてください。

③ ロボットを充電台に接続し、電源を入れます。

- 電源に接続した後、充電用コンタクトピンに合わせてロボットを充電台に取り付けてください。ロボットの電源は自動的にオンになります。

⚠ 注意:

- 電池残量が少なくなってロボットの電源が入らなくなった場合、ロボットを充電ベースに一定時間置くと、自動的に電源が入ります。
- ロボットが充電ベースに置かれていない場合は、電源ボタンを3秒間長押しして電源を入れます。
- 機械が充電を開始すると自動集塵が起動し、動作音がします。(5分間集塵を繰り返さない)



④ 充電完了。

- ご使用される前にロボットをフル充電してください。



⚠ 注意:

- 最初に使用する前に、ロボットを少なくとも4-6時間充電することをお勧めします。十分な電力がないと、ロボットは起動せず、充電のために充電ベースに戻ってきません。

4) モバイル端末と接続する

⚠ 注意:

- モバイル端末がiOS 9.0 (もしくはそれ以上) またはAndroid 5.0 (もしくはそれ以上) であることを確認してください。
- 無線LANルーターで2.4GHz帯の無線電波が有効になっており、電波が強いことを確認してください。
- より良い接続品質を確保するために、携帯電話のBluetoothをオンにしてください。

① アプリをダウンロードする。

- アプリストアで「Verefa Life」アプリを検索して、インストールしてください。



② Wi-Fiをリセットします。

- 音声メッセージが聞こえるまで2つのボタン(⏻ 電源ボタンと 🔋 充電ボタン)を同時に3秒長押ししてください。
ロボットの2つのインジケーターがゆっくりと点滅し始めると、ネットワーク構成モードに入ったことが示されます。

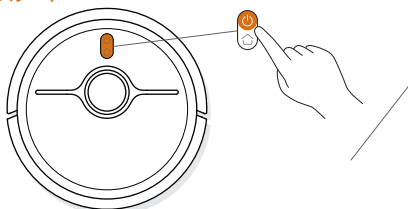
③ デバイスを追加します。

- アプリを開き、プロンプトに従ってアカウントを登録またはログインしてください。
- アプリのトップページにアクセスし、ページの右上にある「+」をクリックすると、デバイスの追加ページが表示されます。
- ページの指示に従ってロボットに接続してください。

⚠ 注意:

- Wi-Fiワイヤレス接続は2.4GHz帯域のネットワークのみに対応します。
- アプリケーションのアップグレードと更新により、実際の操作は上記の説明と異なる場合があります。現在のアプリケーションのガイドラインに従って操作してください。
- ネットワーク構成に失敗した場合は、Wi-Fi をリセットしてから、上記の操作を再度実行してください。

5) クリーニングスタート



4. 利用説明

4.1 主な機能

● 電源オン/オフ

- ⏻ 電源ボタンを長押しして電源を入れます。電源インジケーターが点灯した場合、ロボットはスタンバイ状態になります。
- 🔋 電源ボタンを長押ししてロボットをオフにします。

⚠ 注意:

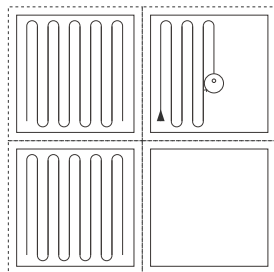
- ロボットは充電中にシャットダウンできません。

● クリーニングスタート(自動クリーニング)

- ⏻ 電源ボタンを短押ししてクリーニングをスタートすると、ロボットはスキャンによって生成されたマップに従って掃除ルートを自動的に計画し、壁に沿って掃除してから波形状に従って掃除することで、徐々に各エリアのクリーニングを完了します。効率的かつフルカバーのクリーニングが終了した後、ロボットは自動的に充電台に戻って充電し、完全なマップを作成します。

⚠ 注意:

- バッテリー残量が少なすぎるとクリーニングがスタートされないため、充電してからクリーニングをスタートしてください。
- クリーニング中に電力が低下した場合、ロボットは自動的に充電台に戻って充電し、電力が十分になったら、自動的に中断箇所に戻ってクリーニングを継続します。
- ロボットがクリーニング中に地面にある各種コード(充電台の電源コードを含む)を引きずることによる停電、物品やコードの損傷を避けるために、クリーニング前にこれらのコードを片付けてください。
- ロボットが正常に戻れなくなる可能性があるため、クリーニング中に充電台を移動させないでください。
また確実に電源に接続してください。



● 停止/続行/スリープ

- ロボットの稼働中に任意のボタンを押すと、停止となり、電源ボタンを押すと、クリーニングを続行します。
- 10分以上スタンバイすると、ロボットは自動的にスリープ状態になり、スリープ状態ではインジケータは消灯し、いずれかのボタンを押すと、ロボットをウェックアップすることができます。

⚠ 注意:

- 停止中にロボットを充電台に戻して充電すると、今回のクリーニングが終了します。
- クリーニングを続行する場合、経路が乱れないように、ロボットを元の位置に戻して元の方向に向かわせてください。
- ホストが充電中に休眠することはありません。
- スリープ時間が6時間を超えると、自動的にシャットダウンします。

● 充電

- 自動方式: クリーニングが終了した、または電力不足になった場合、ロボットは自動的に充電台に戻って充電します。
- 手動方式: 停止状態で、◇ 充電ボタンを短押しして充電をスタートするか、または携帯電話のクライアントコマンドで充電を指示します。

⚠ 注意:

- ロボットが充電台を見つけれない場合は、手動でロボットを充電台まで移動させて充電してください。
- ロボットの充電中はインジケータがブレス点滅します。

● マップ管理

- スマートマップの作成:
マップがない状態でクリーニングタスクを開始すると(最初のクリーニング、スマートマップのリセット後など)、ロボットは新しいスマートマップを作成します。完全な部屋平面図を生成するために、次の手順通りに操作してください:
 - ロボットが各部屋のマップを生成するために、ドアを開いてロボットに自動クリーニングタスクを実行させてください。
 - ロボットを妨害し、または引っかかる可能なものをすべて取り除いてください。
 - スマートマップが生成した後、充電台を移動させたり、電源を切ったりしないでください。

- リアルタイムでマップを作成する:

マップのリアルタイム作成は、クリーニング経路と環境を簡単に把握することに役立ちます。スマートマップは、正常なナビゲーションを確実にするために、クリーニングのたびにリアルタイムで更新されます。

- スマートマップの再作成と再配置:

ロボットまたは充電台の位置が移動した、または周囲の環境が大幅に変化した場合、ロボットは周囲の環境にマッチングするように、再配置を試み、スマートマップを再作成する可能性があります。具体的には次のようになります:

- 再配置に成功した場合、ロボットはクリーニングを再開します。
- 再配置に失敗した場合、ロボットはローカルクリーニング、ゾーンクリーニング、ルームクリーニングモードでタスクを終了します。
- 再配置に失敗した場合、自動クリーニングモードでは、ロボットは新しいクリーニングに正常なナビゲーションを提供するために、スマートマップを再作成するものの、設定された禁止エリアやパーティションなどのマップ設定情報は失われます。

⚠ 注意:

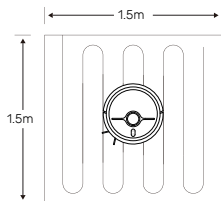
- ロボットが毎回充電台からクリーニングを開始するようにしてください。
- クリーニング中にロボットを頻繁に移動させないでください。移動させた場合は、必ずロボットを元の場所に戻してください。

● ローカルクリーニング(モバイルクライアントのみ設定)

- モバイルクライアントのリモートページでローカルクリーニングをスタートすると、ロボットは、ロボットを中心として1.5m×1.5mの長方形エリアをクリーニングします。クリーニング後、ロボットは自動的に開始位置に戻ります。

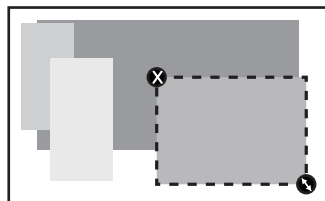
⚠ 注意:

- 他のタスクが実行されている内にローカルクリーニングをスタートすると、前のクリーニングタスクが直接終了します。



● ゾーンクリーニング(モバイルクライアントのみ設定)

- モバイルクライアントの場合、マップで1つ以上のエリアを設定し、ゾーンクリーニングを実行することが可能です。ロボットはこのエリアのみをクリーニングし、クリーニング終了後、充電台に戻ります。



⚠ 注意:

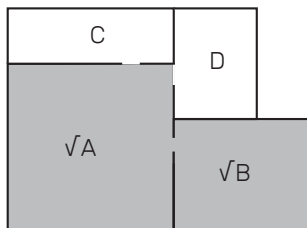
- この機能は、ロボットがマップの作成を完了している場合、実行可能です。
- クリーニング開始後、ロボットが区画されたエリア以外に立ち入る場合があります。このエリアは安全な隔離機能を果たすことができないため、周囲の障害物などを整理するように注意してください。

● **ルームクリーニング(モバイルクライアントのみ設定)**

- モバイルクライアントの場合、マップで1つ以上のエリアを設定し、ルームクリーニングを実行することが可能です。ロボットはチェックされた1つまたは複数のルームをクリーニングし、クリーニング終了後、充電台に戻って充電します。

⚠ 注意:

- この機能は、本体がマップの作成を完了し、エリアを設定した場合、実行可能です。
- クリーニング開始後、ロボットが選択されたエリア以外に立ち入る場合があります。このエリアは安全な隔離機能を果たすことができないため、周囲の障害物などを整理するように注意してください。



● **クリーニング予約(モバイルクライアントのみ設定)**

- モバイルクライアントの場合、特定の時間にカスタマイズされたクリーニングタスクを予約することができます。ロボットは、指定された時間にタスクを自動的に開始し、タスク終了後、自動的に充電台に戻って充電します。

⚠ 注意:

- 他のクリーニングタスク実行中に、クリーニング予約タスクスタートがトリガーされると、前のクリーニングタスクが直接終了します。

● **吸引力レベル**

- 最適なクリーニング効果を確保するために、ユーザーは必要に応じて異なる吸引力ギアを選択できます。
- 吸引力を強くすると、バッテリーの使用時間が短縮され、ノイズが大きくなります。

● **オートブースト(アプリからのみ設定可能)**

- クリーニング中、厚手のカーペットや掃除にくいゴミなど、より強い出力が必要だと判断した場合、ロボットが自動的に吸引力を上げて最高の掃除をします。
- この機能により、掃除時間が短縮されますが、騒音が大きくなります。騒音の増大が気になる場合は、アプリでこの機能を無効にすることができます。

● **自動でダストボックスを空にする(自動エンpty)**

- **自動で空にする:**
 - 清掃後、充電ベースに戻ると、アプリで設定した空回し頻度に従って、ロボットが自動的にダストボックスを空にしてくれます。
 - 空になる頻度はアプリで調整できます。
- **手動で空にする:**
 - 本体を充電スタンドに接続した状態で、本体のバックチャージボタンを短押しすると、手動集じんが可能です。

⚠ 注意:

- 自動で空にする機能が不要な場合は、アプリでこの機能を無効にしてください。
- 自動的に土を捨てるときは騒音が大きい。騒音が日常生活に与える影響に注意してください
- 頻繁に集塵する条件がトリガされると、集塵に失敗する可能性があります。

● **掃除**

- 掃除モジュールはベースから取り外し可能で、スタート/一時停止ボタンで掃除機能をオンにすることができます
- モード調整ボタンで吸引力を調整でき、さらにサイクルでそのモードを調整する必要があります。インジケータの点灯数により現在のモードを確認できます。

4.2 モップ機能

● モップ

— ユーザーは、モップモジュールを取り付け、ダストボックス水タンクモジュールに水を加えることによって、モップ機能を使用することができます。

- モップモジュールがインストールされている場合、掃除機はモップ機能を自動的に起動します。ユーザーは 携帯電話のクライアントで水量調整を行い、清掃中に地面だけを拭くように設定することもできます。

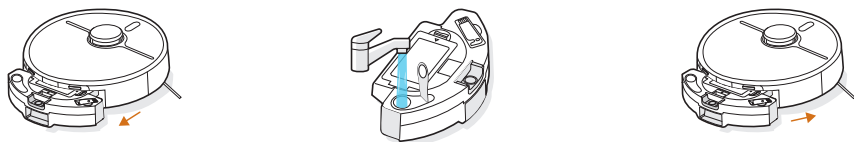
① 給水タンクへの注水

- ダストボックスタンクモジュールを取り外します。
- タンク栓を開け、水道水を満たしてから、タンク栓を閉じます。

⚠ 注意:

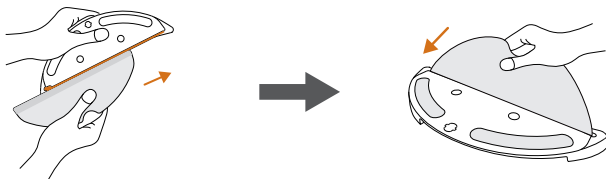
- タンクの腐食や排水管の詰まりを避けるため、洗剤や消毒液を使用しないでください。
- タンクが変形する場合があるため、お湯を入れないでください。

- ダストボックスタンクモジュールを再装着する



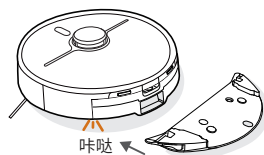
② モップの取り付け

- モップを濡らした後、絞って水をきり、モップホルダーの裏側を手前にしてモップをモップスタンドのスロットに沿って挿入し、しっかり固定します。



③ モップモジュールの取り付け

- モップが取り付けられているモップモジュールを掃除機の後ろに沿って平行に押し込み、「カチッ」という音が聞こえたら、正しく取り付けられることを示します。

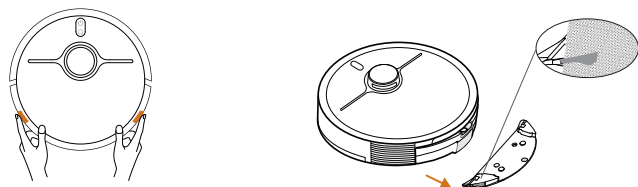


④ クリーニングを起動

クリーニングのタスクを起動すると、モップ機能も起動します。

⑤ モップモジュールの取り出し

- 掃除機が動作を終えて充電台に戻った場合、両側のスナップを押して後ろに向かってモップモジュールを取り出します。



- モップが完了した後、充電したり、使用しない場合は、モップモジュールを除去し、モップを洗浄し、異臭やカビが発生しないようにタンク内の水を捨ててください。

⚠ 注意:

- 人員が世話をしている間に、モップ機能を使用してください。
- 湿ったモップモジュールが地面を過度に湿らせて損傷しないように、ある領域に長期間留まらないようにしてください。
- モップモジュールを取り付けると、掃除機の障害物を越える高さが低くなるので、引っかかる可能性があることにご注意ください。
- モップ機能は頑固な汚れや液体のないきれいな地面にのみ使用可能です。地面にコーヒーの汚れ、インクの汚れなどの着色汚れがある場合は、地面を汚さないようにモップ機能を使用しないでください。
- モップ機能は滑らかで硬い地面の清掃に最適であり、平らでないタイル、大量のワックスをかけた床、または比較的粗い表面では効果が悪い可能性があります。引っかかりたり、滑ったり、スムーズにモップできない可能性があります。
- カーペットにモップ機能を使用しないでください。
- モップ効果を高めるために、モップ機能を使用する前に、掃除機で地面を3回掃除することをお勧めします。

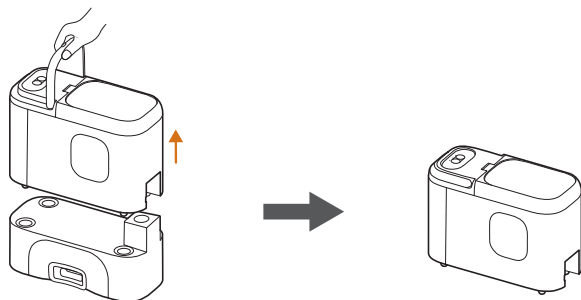
● 水量調整

- 最適なモップ効果を確認するために、ユーザーは必要に応じて異なる水量レンジを選択してモップすることができます。
- 水量を多く調整すると、1回のモップ使用可能時間が短くなります。
- 最適なモップ効果を得るために水の量を補充する必要があるかどうかにご注意ください。

4.3 掃除機能

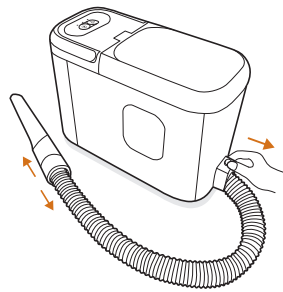
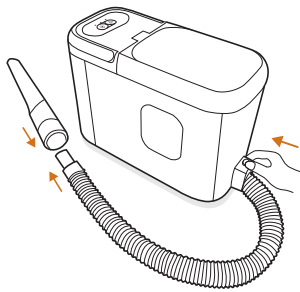
1) 掃除モジュールの取外し

- 充電台のベースからハンドルを持ち上げ、掃除モジュールを取り外します。



2) ホース部の接続と取り外し

- ホース部のコネクターのボタンを押し、コネクタを取り外し可能な掃除モジュールに接続してから、ホースの反対側に隙間ノズルを取り付けます。
- 掃除機能が使ったまたは集塵機能を使用する必要がある場合は、コネクターのボタンを押してホース部を取り外し、将来の使用に備えて適切に保管してください。



3) スタート/一時停止

- 掃除モジュールを取り外した後、掃除モジュールはスタート/一時停止ボタンでオンにすることができます使用していない場合は、スタート/一時停止ボタンをクリックして一時停止できます。一時停止した後、直接ベースに戻すことができます。

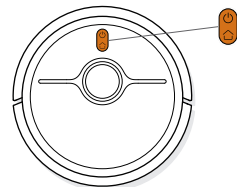
4) モード調整

- モード調整ボタンで、ニーズに応じて対応するモードに調整できます。モード3からモード1に調整する必要がある場合は、ボタンをもう一度押してください。
- モード調整は現在、サイクル調整方式を採用しており、各モードに調整すると、掃除モジュールの対応するインジケータ数が点灯します。

4.4 ネットワーク機能

● Wi-Fiのリセット

- ルーターの設定やパスワード変更、またはその他の理由で携帯電話がデバイスに接続できない場合は、Wi-Fiをリセットしてネットワークに再接続してみてください。
- 音声メッセージが聞こえるまで、 電源ボタンと  充電ボタンを同時に3秒長押しし、インジケータがゆっくりと点滅すると、ロボットがネットワーク構成モードに入ったことを示します。
- 具体的なネットワーク接続手順については、「取り付けと使用」の「モバイルクライアントへの接続」をご参照ください。



● モバイルクライアント機能

- モバイルアプリからロボットを遠隔制御することができます。
- 通常の機能以外に、モバイルアプリを使用して、クリーニング予約、ロボットを探す、ステータスレビュー、スクリーニング履歴など、より詳細な制御と設定を行うことができます。
- 具体的なネットワーク接続手順については、「取り付けと使用」の「モバイルクライアントへの接続」をご参照ください。

⚠ 注意:

- アプリの継続的な開発とアップグレードにより、機能と詳細はわずかに調整される場合があるため、実際のバージョンに準じてください。

4.5 その他の機能

● ロボットを探す

- ロボットがどこかに引っかかっている場合、アプリの「ロボットサーチ」を通じてロボットを鳴らして所在場所を特定することができます。

● 強制再起動システム

- ボタンが反応しない、またはオフにできない場合は、システムを再起動してみてください。
- 充電していない状態で、 電源ボタンを10秒長押しして強制的にシャットダウンしてから、再び  電源ボタンを3秒長押しして電源をオンにしてください。

● 工場出荷状態に戻す

- システムを強制再起動しても正常に動作しない場合は、工場出荷時の設定に戻してみてください。
- 充電していない状態で、音声メッセージが聞こえるまで  充電ボタンを15秒間長押しします。
- ロボットはすべての情報と設定をクリアするため、ユーザーは情報 (ネットワークを含む) を再構成する必要があります。

5. トラブルのこと

5.1 日常の保守

注意：本デバイスをクリーニングし、メンテナンスする前に、電源を切ってプラグを抜いてください。

デバイスの最適なパフォーマンスを確保するために、下記の表を参照して日常の保守を行うことをお勧めします。

部品	保守頻度	交換頻度
ダストボックス	月1回	-
フィルター	週1回	3ヵ月ごと
ローラーブラシ	月1回	6～12ヵ月ごと
ローラーブラシ・カバー	月1回	3～6ヵ月ごと
サイドブラシ	月1回	3～6ヵ月ごと
タンク	使用するごとに	-
モップモジュール	使用するごとに	-
モップ	使用するごとに	3～6ヶ月ごと（または著しい摩耗がある場合）
キャスター・ホイール	月1回	-
ホイール	月1回	-
センサー	月1回	-
充電タッチシートと充電コンタクト	月1回	-
ダストバッグ	月1回	ゴミの状況によって決定
ホース部	月1回	6～12ヵ月ごと
充電台フィルター	月1回	-
充電台ダートポート	月1回	-
充電台排気口	目詰まり時保守	-

△ 注意：

- ペットを飼っている場合、部品の保守頻度は1サイクルあたり2回に増やす必要があります。
- 交換頻度は実際の状況によって異なる場合がありますが、見られる異常摩耗があった場合は、部品を交換してください。

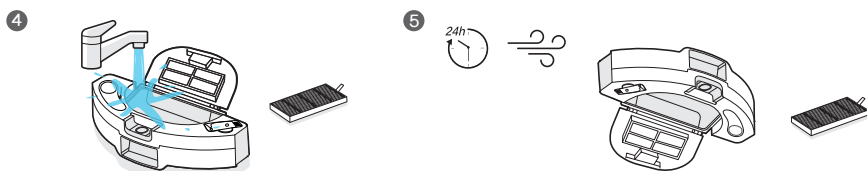
1) ダストボックスとフィルターの清掃

- ① ダストボックスリリースボタンを押してダストボックス水槽モジュールを取り出す。
- ② ダストボックスを開き、空にします。
- ダストボックスの内部キャビティ、ダストボックスの上蓋のガーゼフィルター部分、ダストボックスの集塵口、集塵口カバープレートを、クリーニングブラシを使用して優しくクリーニングします。
- ③ ダストボックスカバーを閉め、フィルターカバーのバックル部分を押してフィルターカバーを開き、フィルター部分を取り出します。
- ④ ダストボックスとフィルターをきれいな水で十分に洗い流してください。
- ⑤ ダストボックスとフィルターを完全に乾かして戻します。

△ 注意：

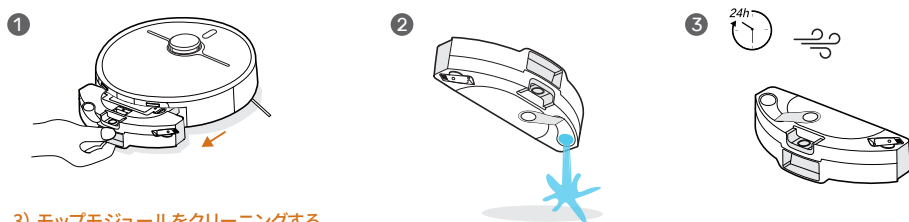
- 使用前に必ずダストボックスのフィルターを十分に乾燥させてください。正常な動作と耐用年数に影響がでます。
- 不良品のダストボックスはロボットに挿入しないでください。誤ってクリーニングを開始して、ロボットのエアダクトを塞いだり、ファンを損傷する可能性があります。
- ダストボックスやフィルターを食器洗い機に入れて洗浄しないでください。





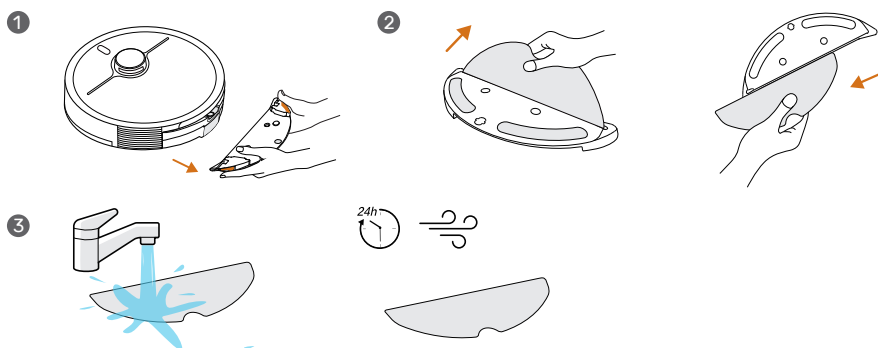
2) タンクをクリーニングする

- ① ダストボックス・リリース用ボタンを押してダストボックスタンクモジュールを取り出します。
- ② タンクプラグを開き、残っている水を出します。
- さらに掃除する必要がある場合は、水を注入してタンクプラグを閉じてタンク内部のキャビティを揺らしてから水を出してください。
- ③ タンクを乾かしてから再装着します。



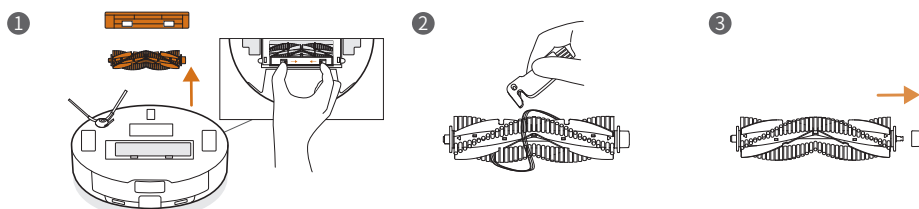
3) モップモジュールをクリーニングする

- ① モップモジュールのスナップを押してモップモジュールを取り出します。
- ② モップホルダーからモップを取り除きます。
- ③ モップを洗浄して干します。

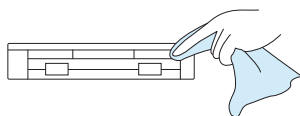


4) ローラーブラシとローラーブラシカバーの清掃

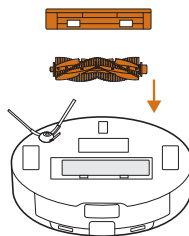
- ① ローラーブラシカバーの両側のバックルを内側に押しながら持ち、ローラーブラシカバーとローラーブラシを取り出します。
- ② ローラーブラシに巻きついた毛をクリーニングブラシの刃で取り除きます。
- ③ ローラーブラシ側面のローラーブラシベアリングを外すと、隙間に絡まった毛を取り除くことができます。
- ④ ローラーブラシのカバーの汚れを落とします。
- ⑤ ローラーブラシを取り付け、ローラーブラシカバーを元に戻します。



4



5



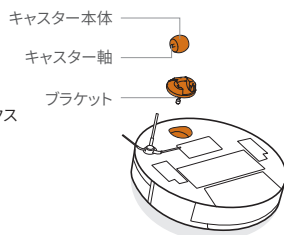
5) サイドブラシのクリーニング

- ① サイドブラシを取り外します。
- ② クリーニングブラシでサイドブラシをクリーニングして再装着します。



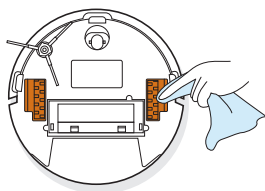
6) キャスター・ホイールのクリーニング

- ① 小型ドライバーなどの工具でホイールアックスを開けてホイールボディを引き抜きます。
- ② ホイールアックスとホイールボディに付着されている髪の毛と汚れを除去した後、ホイールアックスとホイールボディを元の位置に再装着してしっかりと押します。



7) ホイールのクリーニング

- ① 柔らかい乾いた布でホイールをきれいに拭き取ります。

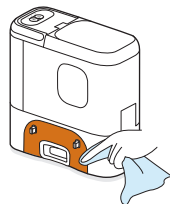
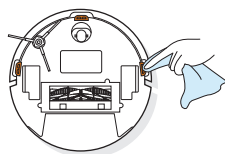
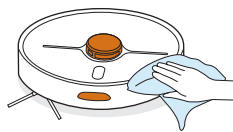


8) センサー、充電タッチシート、充電コンタクトのクリーニング

- ① 柔らかい乾いた布できれいに拭き取ります。

⚠ 注意:

- 本製品には敏感な電子部品が搭載されているため、クリーニングの際は柔らかい乾いた布できれいに拭き取ってください。
- 水による損傷を防ぐために、濡れた布を使用しないでください。



9) 自動エンプティ充電台のダストバッグを交換し、自動エンプティ・ダートポートとフィルターをクリーニングする

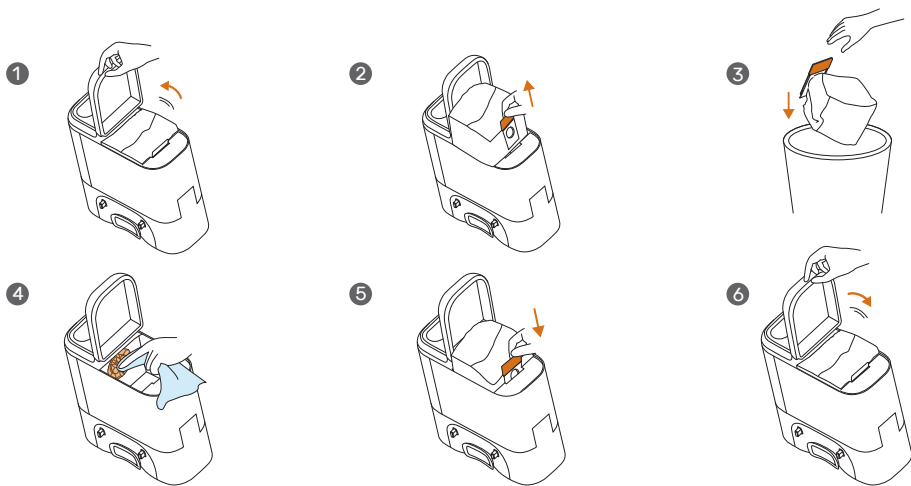
ダストバッグがいっぱいになった場合、自動エンプティ充電台のインジケータの表示によってダストバッグを交換します。ダストバッグを定期的に検査し、交換することが推奨されます。

- ① 自動エンプティ充電台のトップカバーを開けます。
- ② ダストバッグの取っ手を引き上げてダストバッグを取り出します。

⚠ 注意:

- ダストバッグを取り出すとき、ダストバッグの取っ手のカードが自動的にダストバッグを閉じることで、ほこりの漏れを効果的に防止されます。

- ③ 使用されたダストバッグを廃棄します。
- ④ パッケージ内のフィルターと外部の自動エンプティ・ダートポートを柔らかい乾いた布できれいに拭き取ります。
- ⑤ ダストバッグの差込口のガイドレールに沿って新しいダストバッグのカードを押し込んで新しいダストバッグをセッティングします。
- ⑥ 充電台のカバーを閉めます。



10) 排気口のクリーニング

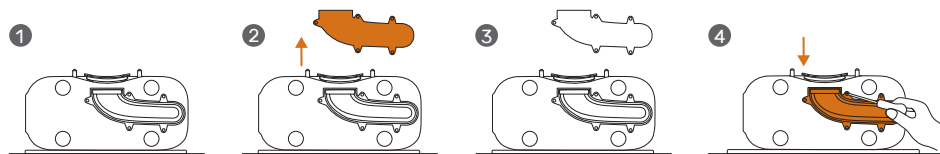
排気口が詰まっている場合は、以下の手順通りにクリーニングしてください。

- ① 平らな面に柔らかい布を敷き、自動エンプティ充電台の手前面を上にするように自動エンプティ充電台を倒して平らにします。

⚠ 注意:

- トップカバーが損傷しないように、自動エンプティ充電台を逆さまに置かないでください。
- 安全のためにプラグを抜いてください。

- ② ドライバーで排気口カバーのネジを取り外し、排気口カバーを取り出します。
- ③ ダクトに異物が詰まっているかどうかをチェックし、除去します。
- ④ ドライバーで排気口カバーを再装着します。



11) ホース部の清掃

- ① ホース内に残ったほこりや髪の毛を取り除きます。
- ② 将来の使用のためにホース部を乾燥してください。

12) フラットサクシンの掃除

- ① フラット吸引の内側に残っているほこりや髪の毛を掃除する。
- ② 次に使用するために、吸引チューブアセンブリを天日干しする。

5.2 トラブルシューティング

本製品の動作中に異常が発生した場合、ロボットのインジケーターまたは自動エンティ充電台のインジケーターがそれぞれ異なる状態のLEDに点灯し、対応するプロンプト音を出すので、下記の方法通りに対処してください。

インジケーター	音声メッセージ	解決策
ロボット がレッドク ィック点滅	エラー1:衝突防止バンパーが引っかかっているのをチェックしてください	- 衝突防止バンパーが引っかかっているので、数回タップして異物を除去してください。確認後、新しい位置で再起動してください。
	エラー2:サイドブラシが引っかかっているのをチェックしてください	- サイドブラシに異物が巻き付けられている可能性があるので、サイドブラシを取り外しながらクリーニングしてください。
	エラー3:ローラーブラシが引っかかっているのを、ローラーブラシを取り外しながらクリーニングしてください	- ロローラーブラシに異物が巻き付けられている可能性があるので、ローラーブラシとベアリングを取り外してクリーニングしてください。
	エラー4:ホイールに異物が入っていないかをチェックし、または近くに移動して再起動してください	- ホイールに異物が入っていないかをチェックし、近くに移動して再起動してください。
	エラー6:フィルターをチェックしてクリアし、フィルターが乾いていることを確認してください	- フィルターが詰まっている可能性があるので、クリーニングしてください。またはフィルターが乾ききっていない場合があります。フィルターは少なくとも24時間乾かしてください。解決できない場合はフィルターを交換してください。
	エラー7:ホイールが宙に浮いているので、近くに移動して再起動してください	- ロボットが持ち上げられたり、宙に浮いたりしているので、近くに移動して再起動してください。
	エラー8:段差センサーをクリアして近くに移動して再起動してください	- ロボットが宙に浮いているか、または段差センサーがほこりに付着されているか、遮られている可能性があります。乾いた布で段差センサーを拭き取ってから、近くに移動して再起動してください。
	エラー10:ロボットを平らな地面に置いて再起動してください	- ロボットが平らな地面に置かれていません。ロボットを平らな地面に置いて再起動してください。
	エラー11:バッテリー残量が少なすぎます。システムが自動的にシャットダウンするので、充電してください	- バッテリー残量が非常に少なく、且つ充電台にない場合は、タスクをトリガーします (バッテリー残量が5%以下)。
	エラー12:ロボットが閉じ込められているので、周りの障害物を片付けてください	- ロボットが引っかかっているか、または閉じ込められている可能性があるので、ロボットの周りの障害物を片付けてください。
	エラー13:充電台の周囲が遮られているので、片付けてください	- 充電台の周囲が障害物に遮られているか、または充電台がほこりに遮られている可能性があるので、周囲を掃除し、充電台の信号伝送エリアを拭き取ってください。
	エラー14:充電エラーです。充電接触面を拭き取ってください	- 乾いた布でロボットの充電タッチシートと充電台の充電コンタクトを拭き取ってください。
	エラー15:ダストボックスとフィルターを戻してください	- ダストボックスとフィルターを戻し、正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられてもエラーが発生する場合は、フィルターの交換を試してください。
	エラー16:位置決めに失敗しました。クリーニングを停止してください	- ロボットを充電台に置いて再起動してください。
	エラー17:位置決めに失敗しました。充電を停止してください	- 手でロボットを充電台に戻して充電してください。
	エラー18:指定されたエリアに到着できません	- ロボットを新しい場所に移動して再起動するか、制限エリアに入ることができない設定を削除してください。

インジケータ	音声メッセージ	解決策
ロボット がレッドク ィック点滅	エラー19: レーザーセンサーが引っかかっているか、または巻き付けられています。 チェックしてください	- レーザーセンサーが異物に引っかかかっていないか、または巻き付けられていないかチェックし、速やかに除去してください。
	エラー20: レーザーセンサーが遮られているので、拭き取ってください	- レーザーセンサーは障害物やほこりに遮られる可能性があります。周りを片付けてレーザーセンサーを拭き取ってください。
	エラー21: 制限エリアが検出されました。 新しい場所に移動して再起動してください	- ロボット制限エリア以外に移動して再起動してください。
	エラーF1: サイドブラシモジュールエラーです。システムを強制再起動してみてください	- サイドブラシは異物に巻き付けられていないかチェックしてください。サイドブラシを取り外してクリアし、シャットダウンしてシステムを強制再起動してみてください。 - それでも障害がまだ発生している場合は、アフターサービスにお問い合わせください。
	エラーF2: ローラーブラシモジュールエラーです。システムを強制再起動してみてください	- ローラーブラシは異物に巻き付けられていないかチェックしてください。ローラーブラシを取り外してクリアし、シャットダウンしてシステムを強制再起動してみてください。
	エラーF3: ファンモジュールエラーです。システムを再起動してみてください	- ダストボックス、フィルター、掃除口に異物が詰まっていないかチェックしてください。クリアしてからシャットダウンしてシステムを強制再起動してください。 - それでも障害がまだ発生している場合は、アフターサービスにお問い合わせください。
	エラーF4: ホイールユニットエラーです。システムを強制再起動してみてください	- ホイールが異物に巻き付けられていないかチェックしてください。クリアしてからシャットダウンしてシステムを強制再起動してください。 - それでも障害がまだ発生している場合は、アフターサービスにお問い合わせください。
	エラーF6: バッテリーエラーです。バッテリーの温度が正常になるまで待ってください	- バッテリーの温度が高すぎるか、低すぎるので、正常になるまで待ってください。 - それでも障害がまだ発生している場合は、アフターサービスにお問い合わせください。
	エラーF7: レーザーセンサーエラーです。システムを強制再起動してみてください	- レーザーセンサーが異物に巻き付けられていないかチェックしてください。クリアしてからシャットダウンしてシステムを強制再起動してみてください。 - それでも障害がまだ発生している場合は、アフターサービスにお問い合わせください。
	エラーF8: ポンプ異常、システムを再起動してみてください	- タンク、機械上のポンプポート、機械底部の出水口を整理し、モンプモジュールを検査してください。整理後、電源を切ってシステムを再起動してみてください。もし故障が依然存在すれば、アフターサービスにご連絡ください

上記の方法でトラブルシューティングができない場合は、当社のアフターサービスにお問い合わせください。ご迷惑をおかけしまして申し訳ございませんが、当社は問題解決をサポートいたしますので、ご安心ください。

インジケーター	音声メッセージ	解決策
充電台が レッドで点灯	ダストバッグが正しく取り付けられ、締め付けられているかチェックしてください	- ダストバッグが取り付けられていることをチェックしてください。 ダストバッグが正しく取り付けられ、トップカバーが閉じていることを確実にしてください。
充電台が レッドで点滅	ダストバッグは長時間交換されていません。 ダストバッグをチェックしてください。	- ダストバッグがいっぱいになっていないか確認し、直ちにダストバッグを交換してください。
	排気口が詰まっています。クリーニングしてください	- ロボットの自動エンブティ・ダートポートと充電台のダートポートエリアが詰まっているかどうかチェックしてください。 詰まっていない場合は、集塵検査を再起動してください。 - 上記の方法で解決しない場合は、「排気口のクリーニング」を参照して排気口をクリーニングしてください。

上記の方法でトラブルシューティングができない場合は、当社のアフターサービスにお問い合わせください。ご迷惑をおかけしまして申し訳ございませんが、当社は問題解決をサポートいたしますので、ご安心ください。

5.3 よくある質問

質問のタイプ	解決策
電源がオンにならない	1) バッテリー残量が少なくなっていないですか。充電台を電源に接続し、ロボットを充電コンタクトに合わせて充電台に置くと、デバイスは自動的に電源を入れて起動します。 2) 電源がまだオンにならない場合は、システムを強制再起動してみてください。充電中ではない場合、電源ボタンを10秒長押しして強制的にシャットダウンしてから、電源ボタンを3秒長押ししてください。
充電できない	1) ロボットを外して充電台のインジケーターが点灯しているかどうかを確認してください。 点灯していない場合、充電台の電源プラグがソケットにちゃんと差し込まれていることを確認してください。(点灯しない場合は、アフターサービスにお問い合わせください) 2) 充電台のインジケーターが点灯している場合、ロボットの充電タッチシートを充電台の充電コンタクトに合わせて電源オン状態のロボットを充電台に接続し、ロボットのインジケーターがプレス状態になっているか確認してください。 3) 充電台のインジケーターが点灯し、ロボットの電源がオンになっているものの、充電できない場合は、ロボットの電源をオフにして充電台のプラグを抜き、乾いた柔らかい布でロボットの充電タッチシートと充電台の充電コンタクトを拭き取ってから、上記の2つのステップを再試行してください。(それでも充電できない場合は、アフターサービスにお問い合わせください)
起動できない	1) ロボットが電源に接続されていることを確認してください。 2) ロボットがフル充電されている状態を確保してください。 3) 電源ボタンを3秒長押ししてロボットの電源をオンにしてください。
充電できない	1) 充電台の近くにある障害物を取り除き、充電台を広いエリアに置いてください。充電台の正面1.5mと両側0.5mの範囲内に物を置かないようにしてください。 2) 乾いた柔らかい布で赤外線障害物回避センサー、充電センサー、充電台信号伝送エリア、充電タッチシートと充電コンタクトを拭き取ってください。 3) ロボットを充電台の近くに置いて試してみてください。

質問のタイプ	解決策
動作の突然中止	1) ロボットが閉じ込められていないか、または異物で引っかかっているかチェックしてください。 2) バッテリー残量が低すぎないか確認してください。 3) ロボットがレッドで点灯しているか、または障害メッセージが表示されているか確認し、「トラブルシューティング」を参照してください。 4) それでも障害がまだ発生している場合は、システムを強制再起動してください。 電源ボタンを10秒長押しして強制的に電源を切ってから、電源ボタンを3秒長押しして電源を入れてください。
動作異常	1) 対応する障害プロンプトがあるかどうかを確認し、「トラブルシューティング」を参照してください。 2) 「日常の保守」を参照し、乾いた柔らかい布でセンサーを拭き取ってください。 3) ロボットを再起動してください。
掃除機が突然大きな騒音を立てはじめた	1) 吸力調整または自動ブーストをオフにして、この設定によってノイズが比較的大きくなるかどうかを確認してください。 2) ローラーブラシ、フィルター、ダストボックス、掃除口、ホイール、キャスター・ホイールに異物や詰まりがないかチェックしてください。 3) フィルター、ローラーブラシ、ローラーブラシ・カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。
クリーニング能力の低下またはほこりの漏れ	1) ダストボックスをきれいにしてください。 2) フィルターをきれいにし、または交換してください。 3) ローラーブラシをきれいにしてください。 具体的な方法については、「日常の保守」を参照してください。
ローラーブラシが回転しない	1) ローラーブラシとその両側に髪の毛や異物がないか確認し、きれいにしてください。 2) ローラーブラシとローラーブラシ・カバーが正しく取り付けられているかどうかチェックしてください。
モップモジュールの水が出ないか、水が出ない量が少ない	1) タンク内に水があるかどうかを確認し、説明書に従ってモップモジュールを正しく取り付けられているか 2) 携帯アプリを使って水量を大量に調節してください 3) タンク底部の出水口が塞がっていないか、注水口の横の戻り口が塞がっていないかを確認してください
Wi-Fiに接続できない	1) ロボットが良好なWi-Fi信号カバレッジエリアにあることを確認してください。 2) 最新のモバイルクライアントをダウンロードしてWi-Fiをリセットしてから、もう一度接続してみてください。 3) パスワードが正しく入力されているか、またはパスワードに特殊文字が含まれているかどうかを確認してください。 4) 5G周波数帯域ネットワークに接続されているかどうかをチェックしてください。本掃除機は2.4G周波数帯域のみをサポートしています。
クリーニングが予約できない	1) クリーニング予約は、バッテリー残量が15%以上である場合にのみ実行されるため、バッテリー残量が15%以上であるかどうかを確認してください。 2) クリーニング周期が正しく設定されているかを確認してください。 3) クリーニング予約が正しく設定されているかどうかを確認してください。もう一度モバイルクライアントで予約を試みてください。予約が成功すると、ロボットがプロンプト音を鳴らします。

上記の方法でトラブルシューティングできない場合は、当社のアフターサービスにお問い合わせください。ご迷惑をおかけしまして申し訳ございませんが、当社は問題解決をサポートいたしますので、ご安心ください。

6. お知らせ

基本パラメーター

ロボット掃除機	
品名	ロボット掃除機
型番	S220
定格電圧	14.4V/14.76V $\overline{\text{rms}}$
入力電源	24V $\overline{\text{rms}}$ 1.5A
定格パワー	30W
充電時間	<6時間
ワイヤレス接続	Wi-Fi IEEE 802.11b/g/n 2.4GHz

自動エンプティ充電台	
品名	自動エンプティ充電台
型番	SD20
定格入力	100V~ 120V
定格出力	24V $\overline{\text{rms}}$ 1.5A
定格周波数	60Hz
パワー	750W

商標について

- Apple、Apple ロゴ、および iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc. のサービス マークです。
- Amazon、Alexa、および関連するすべてのロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- Google、Google Play、Google Playロゴ、Android は Google LLC の商標です。

省エネとバッテリー

休日省エネモード

- 充電台で、ブロンブ音が聞こえるまで ☐ 充電ボタンを10秒長押しすると、休日省エネモードがアクティブになります。
- 休日省エネモードにおいて、ネットワーク、予約などの機能がオフになり、ロボットは省電力モードに入り、エネルギーを節約します。
- この機能は、ロボットを充電台から外すか、またはいずれかのボタンを押した場合にのみ終了します。
- 自動集塵充電スタンドも電源を抜く必要があり、自動集塵充電スタンドの休日省エネモードを終了することができます。

バッテリーの取り外し(廃棄のため)

- この手順は日常の操作説明ではなく、本製品を廃棄する場合に適用されます。
 - 本製品に内蔵されているリチウムイオンバッテリーに含まれている化学物質は、環境を汚染する恐れがあるので、廃棄する前に取り外して専門のバッテリー回収拠点に引き渡して集中処理してください。
1. ロボットが充電台に接触できないようにしておき、クリーニング不能な低バッテリー残量状態でロボットを動作させます。
 2. 電源ボタンを3秒長押しし、ロボットの電源をオフにします。
 3. ドライバーでロボット下部のネジを外し、衝突防止バンパー、ミドルケースを順番に取り外します。
 4. マザーボードとバッテリーカバーを取り外します。
 5. バックルを押してコネクタープラグを引き抜き、バッテリーを取り出します。
- バッテリーを取り外すには、できるだけ電力が使い切れ、かつ電源が切れた状態で安全に操作するようにしてください。
 - バッテリーユニットを完全な状態で取り外してください。ショートや危険物質の漏洩を防ぐために、バッテリーユニットのケースを損傷しないよう注意してください。
 - バッテリーから渗出物が出て、誤って触れた場合は、水で十分に洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。



アフターサービス

カスタマーサービス

本製品のご使用中に、ご質問やご不満がございましたら、より多くの技術サポートを提供させていただくため、下記の連絡先から当社にご連絡ください。ご迷惑をおかけしまして申し訳ございませんが、当社は問題解決をサポートいたしますので、ご安心ください。

コミュニケーションを大切にし、常に対応いたします

→ アフターサービス、保証サービス、チュートリアル動画、FAQ

→ 最新のイベントやニュース、詳細

 www.verefalife.com

 support@verefalife.com

保証内容

本製品の販売、アフターサービスおよび保証規定は、当地域にのみ適用されます。本製品の保証サービスについては、現地の法令に従い、以下の保証内容など、現地の法令と異なる場合は、現地の法令を優先するものとします。

タイプ	保証内容
ロボット	ロボット（バッテリー、部品、消耗品を除く）
部品	充電台、電源コード、モップのブラケット
バッテリー	ロボットバッテリー
注意：モップ、フィルター、ローラーブラシ、ローラーブラシカバー、サイドブラシ、ダストバッグ、ホース部、隙間ノズルは消耗品であるため、本製品に添付されて販売された消耗品は保証対象ではありません。	

次のいずれかの場合は無料修理対象外となり、有料修理となります：

1. ユーザーが取扱説明書に厳格に従って製品を操作していない場合、および不適切な保管による損傷を引き起こした場合。
2. 製品のロボットと部品の無料保証期間が切れた場合。
3. 当社の修理者または当社に認定されていない修理者が製品を分解して故障した場合。
4. 有効な購入証明書番号を提示できなかった場合。
5. 保証カードの型番と修理製品の型番が一致せず、または改竄されていた場合。
6. 自然災害などの不可抗力によって損傷した場合。
7. 突発的原因または人的原因（操作ミス、液体の侵入、不適切な抜き差し、引っかかり傷、運搬、衝突、不適切な電圧入力などを含む）による製品の故障または損傷の場合。

製品保証カード

ユーザー名			
連絡先			
電子メールアドレス			
携帯電話番号			
型番	S220		
製品シリアル番号			
製品購入日			
製品購入ルート	☐ Amazon ☐ eBay ☐ 公式サイト ☐ タオバオ ☐ JD.com ☐ その他、_____		

修理履歴

	修理日	修理場所	修理担当者	故障の説明	交換部品
1					
2					
3					
4					
5					



コミュニケーションを大切にし、常に対応いたします

アフターサービス、保証サービス、チュートリアル動画、FAQ
最新のイベントやニュース、詳細

 www.verefalife.com

 support@verefalife.com